

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	ドリカムサポート新松戸
住 所	千葉県松戸市新松戸4-5 0 新松戸Uビル2F
電話番号	047-712-1100

事業所番号	122401622
管理者名	宮内里恵子
対象年度	2025年度

(I) 労働時間		30 点
①1日の平均労働時間が7時間以上		
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満	○	
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		

①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点

(II) 生産活動		60 点
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上	○	
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上		
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賃金の総額以上		
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賃金の総額以上		
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賃金の総額未満		
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賃金の総額未満		

①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点

(III) 多様な働き方（※）		15 点
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		
就業規則等で定めている	○	
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている	○	
③在宅勤務に係る労働条件及びサービス規律		
就業規則等で定めている	○	
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑤短時間勤務に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている	○	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている	○	
小計（注1）	7	

（※）8項目の合計点に応じた点数 1) 5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点

(IV) 支援力向上（※）		15 点
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		
参加した職員が1人以上参加している	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合	○	
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合	○	
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定められた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計（注2）	5	

（※）8項目の合計点に応じた点数 注2) 5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点

(V) 地域連携活動		10 点
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	

1事例以上ある場合:10点

(VI) 経営改善計画		0 点
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	

期限内に提出していない場合:-50点

(VII) 利用者の知識・能力向上		10 点
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	

1事例以上ある場合:10点

項目	点数
労働時間	5点 20点 30点 40点 55点 65点 80点 90点
生産活動	-20点 -10点 20点 40点 50点 60点
多様な働き方	0点 5点 15点
支援力向上	0点 5点 15点
地域連携活動	0点 10点
経営改善計画	0点 -50点
利用者の知識・能力向上	0点 10点

合計	140 点 / 200点
----	-----------------

## 就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表（実績 I ～IV、VI）

## (I) 労働時間

前年度（2024年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	26,389	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	8,315	人	利用者の1日の平均労働時間数	3	時間
-----------------------------	--------	----	-------------------	-------	---	----------------	---	----

## (II) 生産活動

会計期間（4月～3月）

前々々年度（2023年度）

生産活動収入から経費を除いた額	29,446,629	円	利用者に支払った賞金総額	29,133,527	円	収支	1,001,123	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-----------	---

前々年度（2024年度）

生産活動収入から経費を除いた額	29,664,181	円	利用者に支払った賞金総額	28,946,119	円	収支	1,084,287	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-----------	---

前年度（2025年度）

生産活動収入から経費を除いた額	29,799,156	円	利用者に支払った賞金総額	29,092,390	円	収支	706,766	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	---------	---

## (III) 多様な働き方

前年度（2023年度）における取組（全体表「(III) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

① 免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度

◎ 免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を定めている

② 利用者を職員として登用する制度

◎ 利用者を職員として登用する制度を定めている

③ 在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている

④

⑤ 短時間勤務に係る労働条件

◎ 短時間勤務に係る労働条件を定めている

⑥ 時差出勤制度に係る労働条件

◎ 時差出勤制度に係る労働条件を定めている

⑦ 有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎ 有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている

⑧ 傷病休暇等の取得に関する事項

◎ 傷病休暇等の取得に関する事項を定めている

## (IV) 支援力向上

前年度（2024年度）における取組（全体表「(IV) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

① 研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎ 研修計画を策定している
◎ 外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。
※ 研修名 屋内農園型障害者雇用支援サービスについての理解を深め一般就労への意欲を高める
研修講師 栗原 大
実施日・受講者数 3月 25日 15人

② 研修、学会等又は学会誌等において発表

◎ 研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している
※ 研修、学会等名 矢切特別支援学校PTA
実施日 11月 26日
※ 学会誌等名
掲載日 月 日
発表テーマ：就労継続支援の理解を深め選択肢の拡大を図る

③ 視察・実習の実施又は受け入れ

◎ 先進的事業者の視察・実習の実施している
もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている
※ 先進的事業者名
実施日/参加者数 月 日 人
※ 他の事業所名
株式会社スタートライン
実施日/参加者数 2月 25日 2人

④ 販路拡大の商談会等への参加

◎ 販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。
※ 商談会等名 ギフトショー
主催者名 株式会社ビジネスガイド社
日時 2025年 9月 5日
内容 様々な企業との接触を図り販路拡大を目指す

⑤ 職員の人事評価制度

◎ 職員の人事評価制度を整備している
◎ 当該人事評価制度を周知している
人事評価制度の制定日 2025年 10月 1日
人事評価制度の対象職員数 11名
うち昇給・昇格を行った者 11名
当該人事評価制度の周知方法
当該個人に書面にて通達

⑥

⑦

⑧

## (VI) 経営改善計画

◎ 指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。
※ 受理日 年 月 日

## 就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	ドリカムサポート新松戸	事業所番号	122401622
住所	千葉県松戸市新松戸 4 丁目50 新松戸Uビル2F	管理者名	宮内里恵子
電話番号	047-712-1100	対象年度	2025年度

## 地域連携活動の概要

<b>&lt;活動内容&gt;</b>  <b>活動場所</b> タイハイ株式会社 <b>実施日程</b> 令和6年4月1日～令和7年3月31日 <b>実施した生産活動・施設外就労の概要</b> <b>利用者数 等</b> 工場内にてミールキットの作成・原材料のピッキング、検品等 利用者：5名～6名	<b>&lt;活動の様子&gt;</b>  <b>活動の様子の写真</b> ■食品工場内でのミールキット作成■  ※検品をしながら袋詰めをしている  <b>成果物の写真</b>  ※完成したミールキット  <b>活動内容の追加コメント</b> 利用者がそれぞれの工程において役割を担い、協力しながら作業を進めている。現場での実務を通じて、作業手順の理解や正確性の向上が図られており、継続的な取り組みにより安定した作業遂行が見られる。また、関わりの中で報告・連絡・相談の意識づけや職場での基本的なルールの習得にもつながっており、実践的な就労経験の場として有意義な活動となっている。
<b>&lt;目的&gt;</b> <b>地域連携活動のねらい：</b> 働くことへの理解と意識を高めることを目的とし地域社会とのつながりを持つことで社会参加の促進を図り、自立に向けた意欲の向上につなげる。 <b>地域にとってのメリット：</b> 社会的責任を果たすことができ、企業イメージの向上や地域貢献の側面でも意義がある。 <b>対象者にとってのメリット：</b> 地域企業との関わりを持つことで実際の職場環境を経験でき、一般就労に近い形での就労意識を高めることができる。	<b>主な作業の流れ</b> 原材料の検品 ↓ 袋詰め ↓ ミールキット完成
<b>&lt;成果&gt;</b>  <b>実施した結果：</b> 人間関係の構築・仕事への意識改革 <b>得られた成果：</b> 協調性・社会性の向上 <b>課題点：</b> 集中力の持続・イレギュラー時の判断力	

## 連携先の企業等の意見または評価

<b>連携した結果に対する意見または評価</b>  ミールキット作成業務において、利用者は指示に対して真面目に取り組む姿勢が見られ、作業の正確性についても概ね良好であるとの評価があった。特に繰り返し作業においては安定したパフォーマンスを発揮しており、一定の戦力として認識されている。その一方で作業スピードや臨機応変な対応については個人差があり繁忙時における対応力の向上が今後の課題として挙げられた。  <b>今後の連携強化に向けた課題</b>  利用者ごとの作業習熟度や特性に関する情報共有をより密に行い、適切な業務配置につなげていくことが重要である。また、作業スピードや対応力の向上に向けて、事業所内での事前訓練や振り返りの機会を充実させる必要がある。さらに、現場での課題や変化について迅速に共有できる体制を整え、双方で支援方針のすり合わせを継続的に行うことで、安定した就労継続につなげていくことが求められる。			
連携先企業名	タイハイ株式会社	担当者名	米田様

## 就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	ドリカムサポート新松戸	事業所番号	122401622
住所	千葉県松戸市新松戸4-50 新松戸Uビル2F	管理者名	宮内 里恵子
電話番号	047-712-1100	対象年度	2025年度

## 利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<p>&lt;活動内容&gt;</p> <p>活動場所：ドリカムサポート新松戸</p> <p>実施日程：令和8年3月25日</p> <p>実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要</p> <p>エスプールの担当者を引き、わーくはびねす農園の事業内容や就労形態、業務内容について説明を受けた。あわせて質疑応答の時間を設け、利用者および職員が理解を深める機会とした</p> <p>利用者数 等</p> <p>利用者人数：13名 職員8名</p>	<p>&lt;活動の様子&gt;</p> <p>活動の様子の写真 (1)</p>  
<p>&lt;目的&gt;</p> <p>利用者の知識・能力向上に係る実施のねらい</p> <p>農業分野における就労形態や業務内容への理解を深める。</p> <p>また、実際の就労現場のイメージを持つことで、自身の適性や働き方について考える機会とし、就労意欲の向上および職業選択の幅を広げることが目的とする。</p> <p>利用者にとってのメリット</p> <p>取り組みに触れることで農作業を通じた体力の向上や生活リズムの安定が期待できる。また屋外での活動により気分転換やストレス軽減につながることも企業雇用を前提とした働き方への理解が深まる。さらに支援体制の整った環境で安心して就労できるイメージを持つことができ、自身に合った働き方考えるきっかけとなる</p>	<p>活動の様子の写真 (2)</p>  
<p>&lt;成果&gt;</p> <p>実施した結果</p> <p>利用者は農園型就労に対する理解を深めることができた。具体的な業務内容や働き方を知ることで就労イメージが明確になり、自身の適性や希望について考えるきっかけとなった。また、一部の利用者においては関心の高まりが見られ、今後の進路選択の選択肢として前向きに捉える様子が確認された。</p> <p>得られた成果</p> <p>農園型就労の具体的な働き方や業務内容について理解を深めることができた。実際の就労イメージを持つことで、自身の適性や希望する働き方について考える様子が見られ、就労への関心や意欲の向上につながった。また、質疑応答を通じて不安点の解消が図られ、今後の進路選択の一助となった。</p> <p>課題点</p> <p>説明により理解は深まった一方で、屋外作業に対する体力面や季節による環境変化への不安を示す利用者も見られた。また、通勤方法や勤務時間への適応、継続的な就労に向けた生活リズムの安定など、個々の状況に応じた課題が明確となった。今後は、個別の適性や体調面を踏まえた支援の検討および段階的な就労準備が必要である。</p>	<p>活動内容の追加コメント</p> <p>エスプールの担当者によるわーくはびねす農園の説明の様子。利用者が熱心に話を聞き、就労への理解を深める機会となった。</p>

## 連携先の企業や事業所等の意見または評価

<p>連携した結果に対する意見または評価</p> <p>今後の連携強化に向けた課題</p>	<p>利用者は全体的に説明への理解度が高く、農園での就労に対して一定の関心が見られたとの評価があった。一方で、体力面や継続的な勤務に対する不安を抱える様子も見受けられるため、無理のない範囲での就労開始や段階的な支援が重要であるとの意見が示された。</p> <p>また、安定した出勤や基本的なコミュニケーションの継続が就労定着において重要であり、事業所と連携しながら個々の状況に応じた支援を行っていくことが望ましいとの助言があった。</p> <p>連携を強化していくにあたり、利用者一人ひとりの体力面や生活リズム、就労意欲に関する情報共有をより具体的なかつ継続的に行う体制の構築が課題である。また、見学や体験機会の調整、就労開始前後のフォロー体制について双方で役割を明確にし、支援の一貫性を確保する必要がある。さらに、通勤や勤務継続に関する課題について事前にすり合わせを行い、無理のない就労移行を実現するための段階的な支援体制の整備が求められる。</p>
<p>連携先企業（担当者）</p>	<p>スタートライン株式会社 栗原 大 様</p>

## 利用者からの意見・評価

<p>参加した利用者からの意見・評価</p> <p>わーくはびねす農園の説明を受け、屋外で体を動かす仕事に魅力を感じたとの意見や、自然の中で働ける環境に関心を示す声が聞かれた。一方で、天候の影響や体力面への不安、継続して勤務できるかについて心配する意見も見られた。また、具体的な仕事内容がイメージしやすかったことで興味が高まったという声がある一方、自身に適しているか慎重に検討したいとの意見もあり、全体として関心と不安の双方が見受けられる結果となった。</p>
--